

1-9)基本手順を押さえた見本例 (実際に法的脳死判定を行った施設の実例です)

1-2) に挙げた法的脳死判定脳波 (ECI) 記録の必須遵守事項を押さえた実例を呈示します。『百聞は一見に如かず』です。文字で理解するよりも容易に理解できると思います。ぜひ、印刷して手順を飲み込んで下さい。

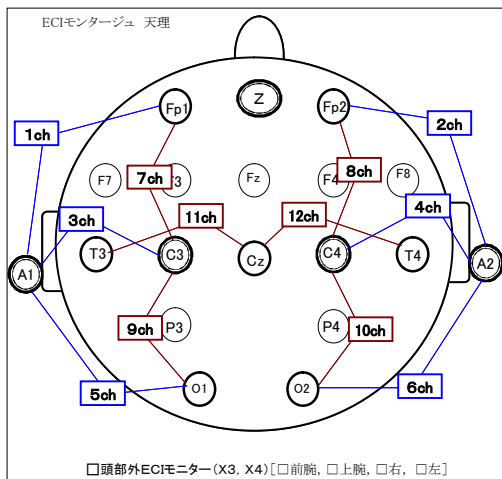
1-9) 法的脳死判定脳波記録 基本手順[例]

脳死判定マニュアルに示された、以下の手順に沿って、必要十分な記録を残す事。不十分な理解や判断によるミスは許されない。

法的脳死判定脳波(ECI)測定 簡易手順				
本番前記録(清書用)				
↓	1) 電極インピーダンス記録		1ページ	
	2) 電極さわりの記録		1ページ	
ECI本番記録		モニタージュ: [ECI用長距離単極・双極誘導法]		
1) 通常感度記録		10 μ V/mm	5分以上	
1-①	↓	CAL	50 μ V	
1-③	↓	呼名	左耳右耳3回	
1-④	↓	痛み刺激	顔面(医師)	
1-⑤	↓	CAL	50 μ V	
2) 高感度記録		2 μ V/mm	30分以上	推奨
2-①	↓	CAL	10 μ Vと2 μ V	推奨
2-③	↓	呼名	左耳右耳3回	
2-④	↓	痛み刺激	顔面(医師)	
2-⑤	↓	CAL	10 μ Vと2 μ V	推奨
注) 記録中の条件変更, 呼名・痛みや雑音は鉛筆で記録と脳波計イベントボタンON				
注) チェックシート記録者はそのつどシートに書き込みを完了させること				

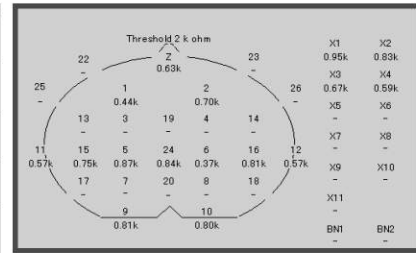
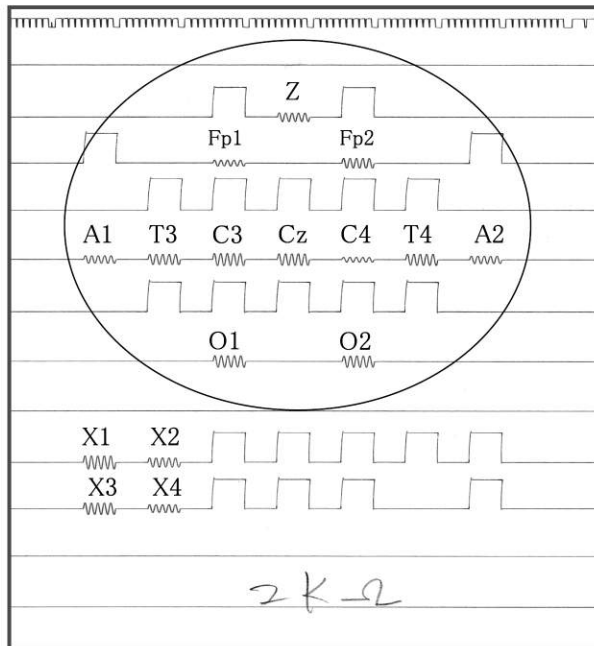
電極間距離の計測(単極および双極)

電極の中心部間をメジャーで読み上げ計測し、他者が記録をとる。頭部外モニターの計測も忘れないこと。



ch	G1	G2	電極間距離
1ch=	Fp1	A1	15.4 cm
2ch=	Fp2	A2	15.5 cm
3ch=	C3	A1	14.0 cm
4ch=	C4	A2	14.0 cm
5ch=	O1	A1	16.0 cm
6ch=	O2	A2	14.0 cm
7ch=	Fp1	C3	13.0 cm
8ch=	Fp2	C4	13.0 cm
9ch=	C3	O1	11.0 cm
10ch=	C4	O2	10.0 cm
11ch=	T3	Cz	16.0 cm
12ch=	Cz	T4	15.0 cm
13ch=	ECIモニター		8.0 cm
14ch=	ECG		

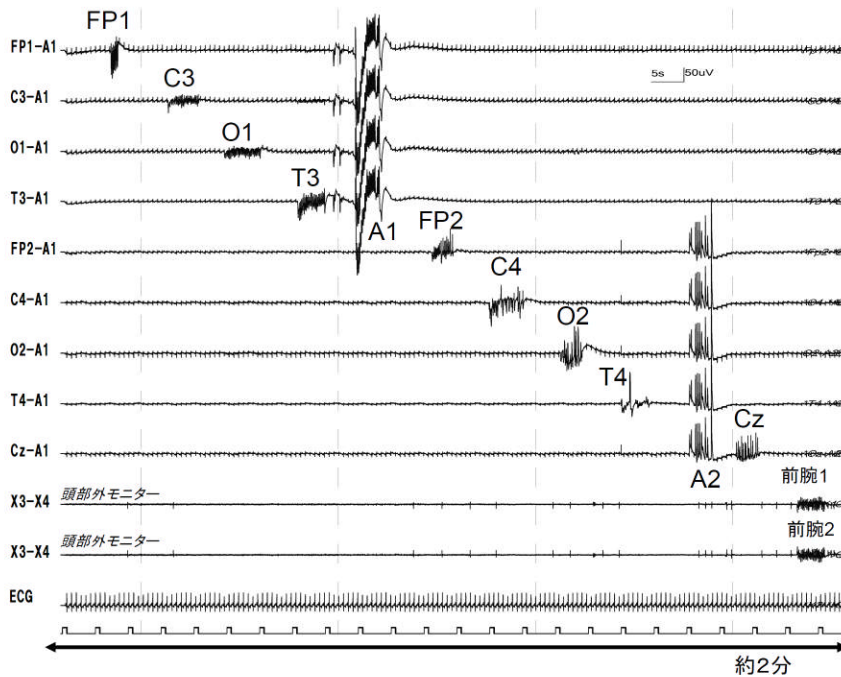
1) 電極接触インピーダンス測定 (ECI モンタージュ)



紙書き時に電極箱の抵抗ボタンを2KΩ(筆記)にて、[RUN]→[抵抗測定]を行い記録紙上に描かせる。

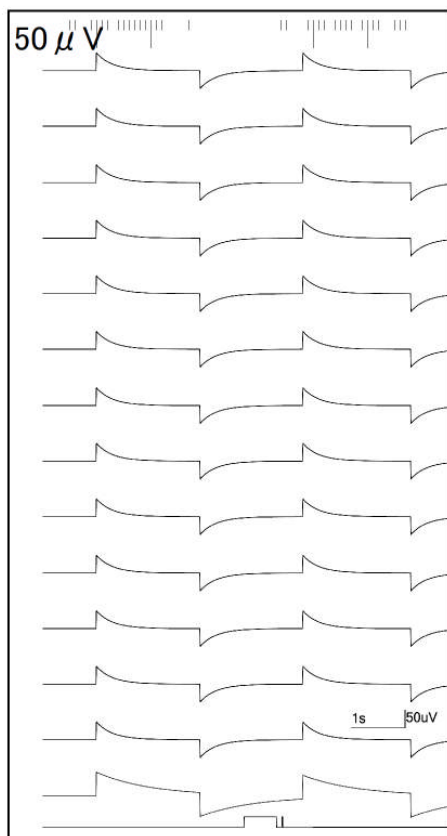
不必要なチャンネルはOFFにしておくが見やすい。

2) 電極さわリテスト (脳波測定システムの総合的機能チェック)

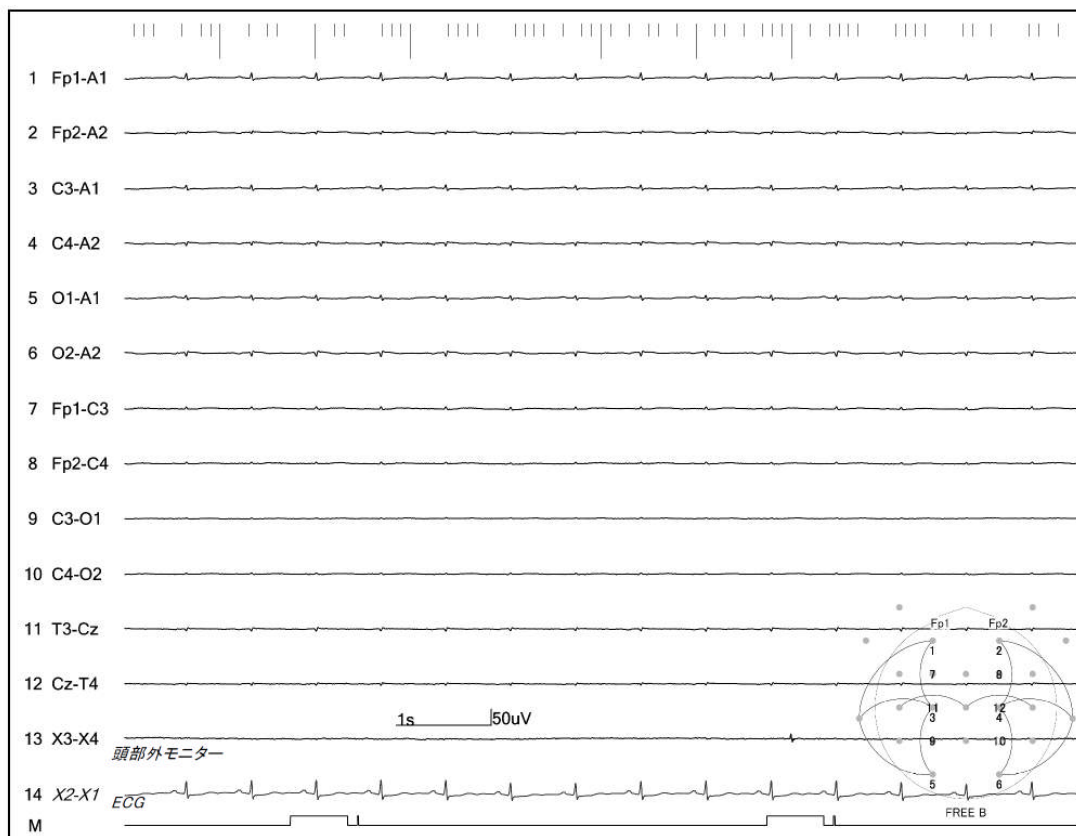


[電極さわリテスト]は、左半球→右半球の順で指先で電極を数回叩いて行った。実施後、見やすいようにモンタージュ・ペーパー速度・感度等を変更してある。

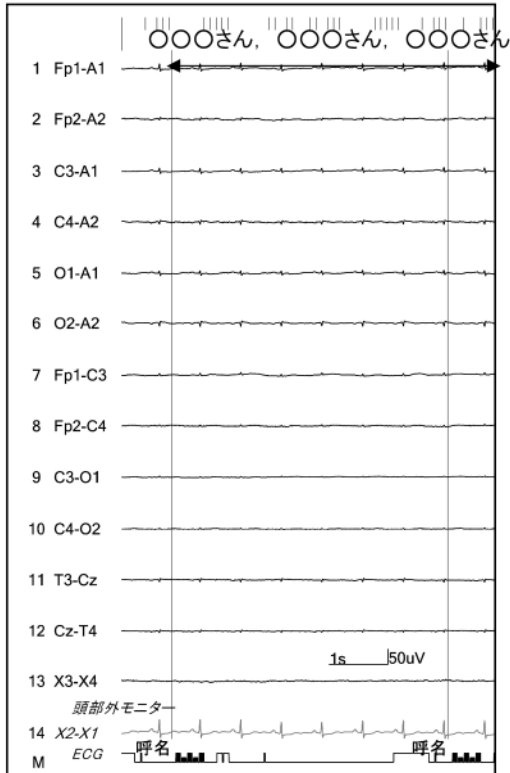
1-① 較正波形(50 μ V) 記録



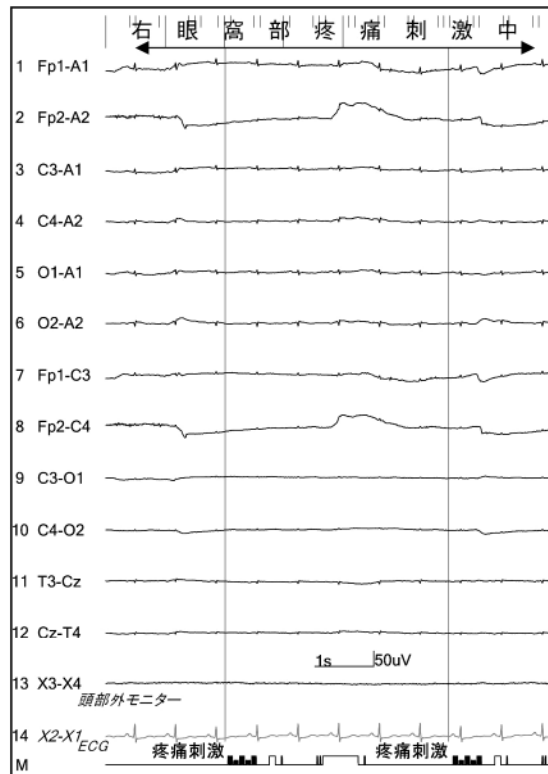
1-② 通常感度(10 μ V/mm) 記録開始



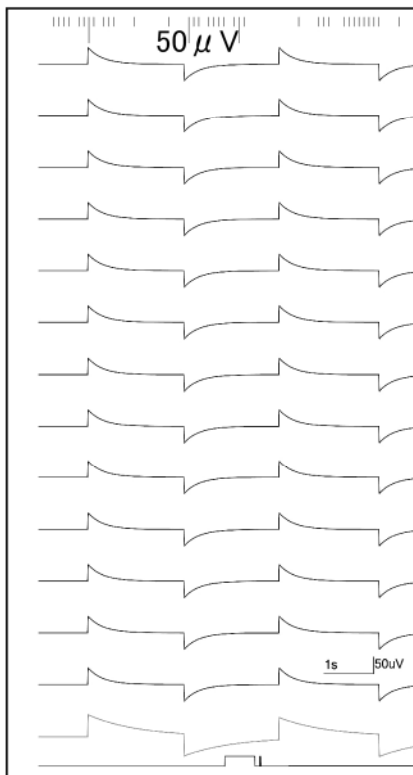
1-③ 呼名 記録



1-④ 疼痛刺激(医師) 記録

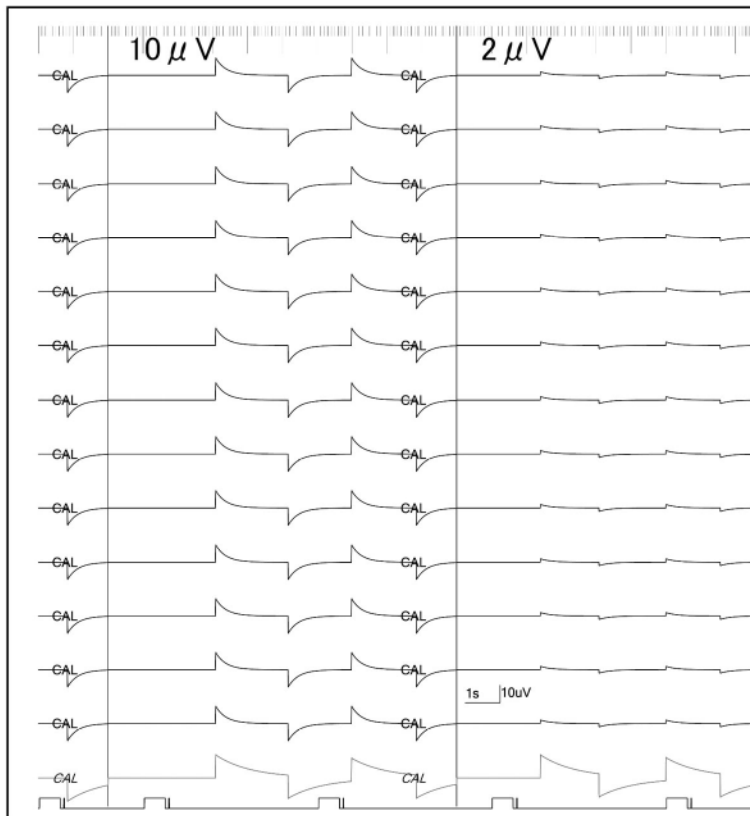


1-⑤ 校正波形(50 μ V) 記録

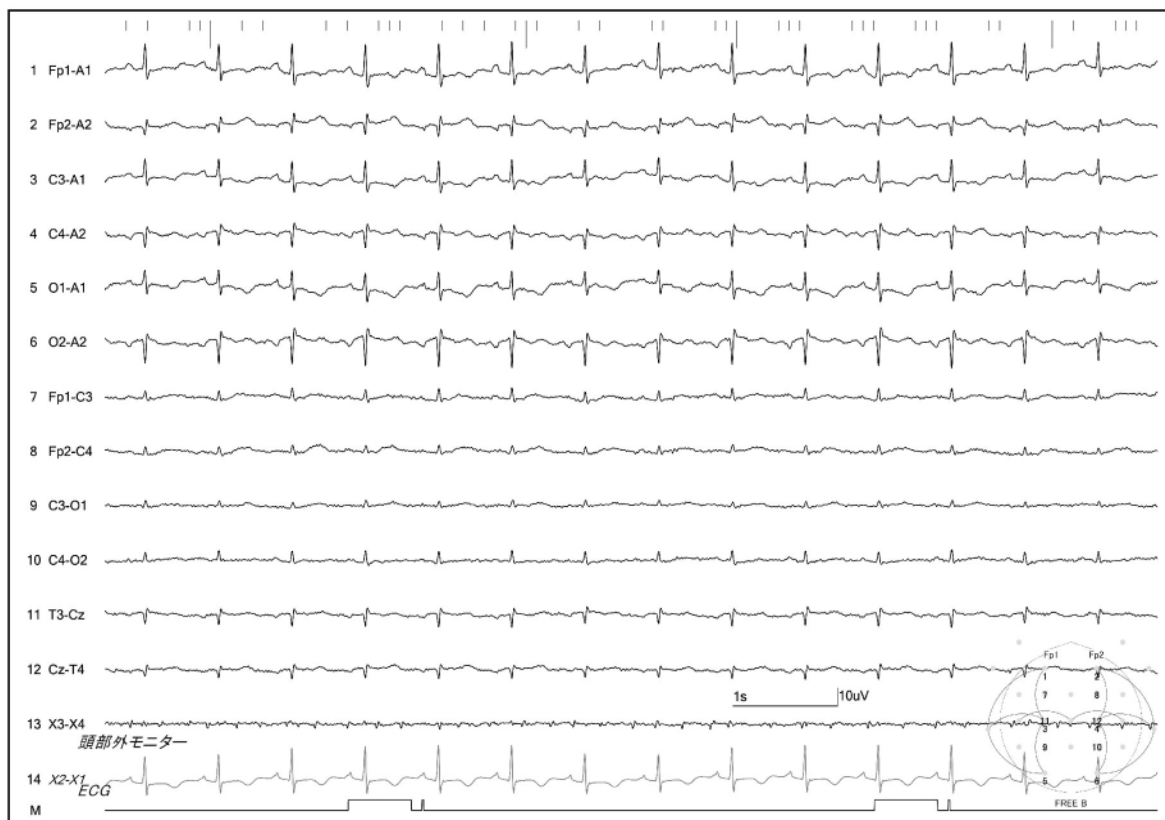


- ・顔面疼痛刺激は、医師が眼窩切痕部を左右それぞれ3回圧迫した。
- ・[呼名]や[疼痛刺激]は脳波計コメントで記録時挿入した

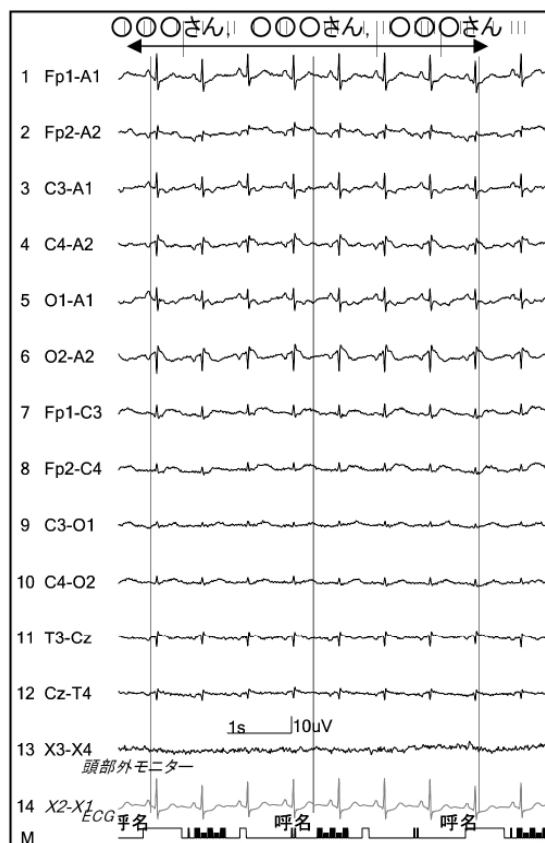
2-① 高感度(2 μ V/mm)で校正波形(10 μ Vと2 μ V) 記録



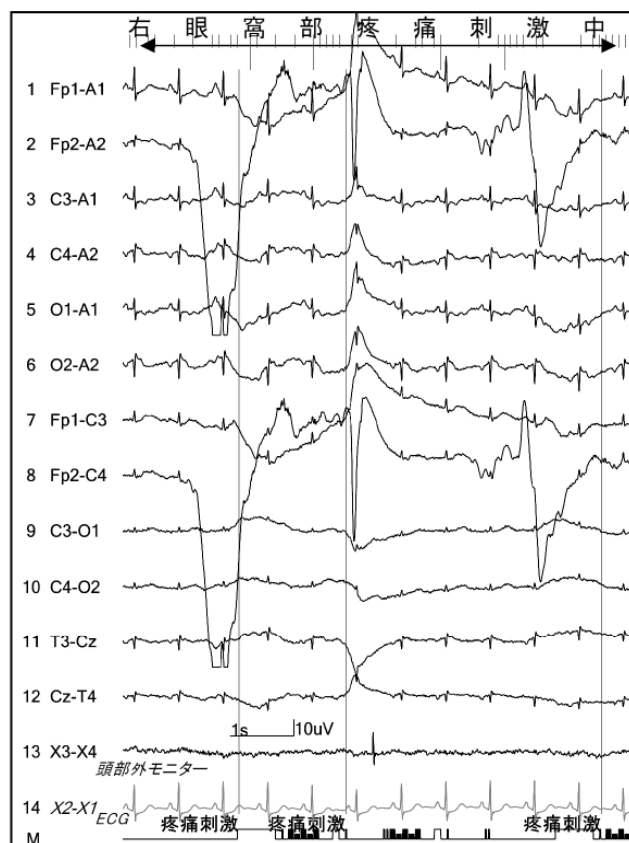
2-② 高感度(2 μ V/mm) 記録 [正味30分以上]



2-③ 呼名 記録

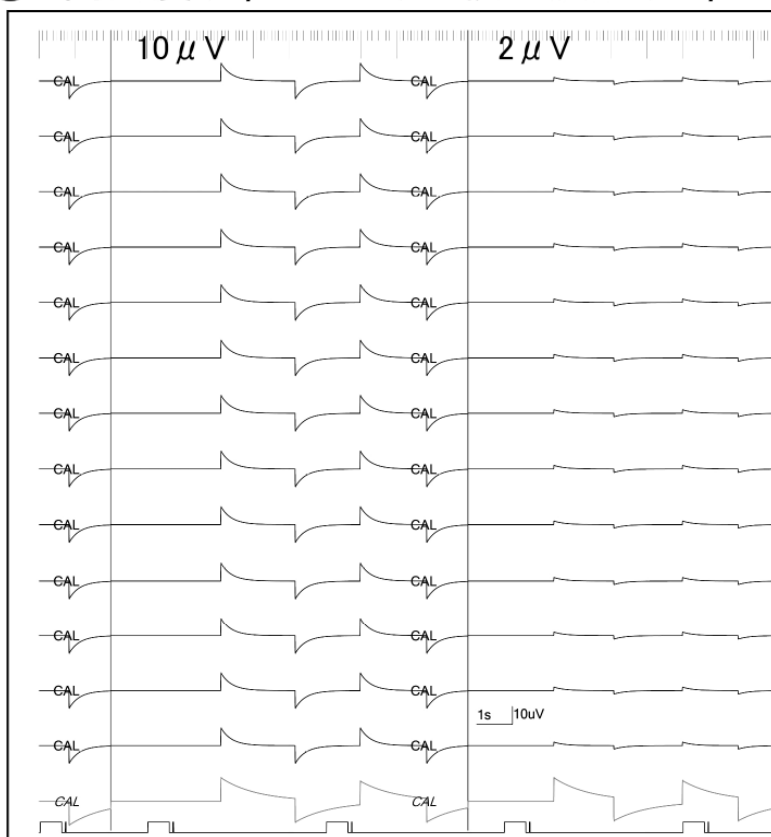


2-④ 疼痛刺激(医師) 記録



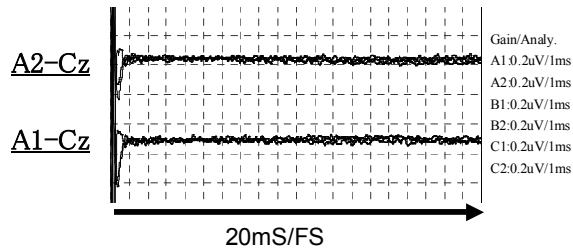
・顔面疼痛刺激は、医師が眼窩切痕部を左右それぞれ3回圧迫した

2-⑤ 高感度(2 μ V/mm)で較正波形(10 μ Vと2 μ V) 記録



付録① ABR 記録例 [ポイント:最大音圧、2倍の分析時間]

1. 両耳同時刺激(最大音圧にて:135dBspl)

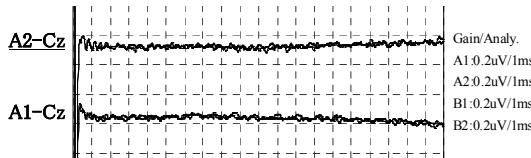


N=2000以上
 再現性の確認のため
 多重測定する

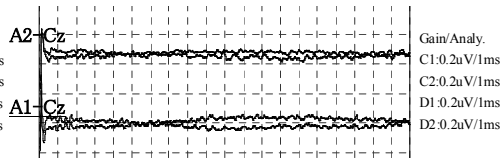
No.	Time	Electrode (-)(+)	Sensitivity (div)	Lo-cut	Hi-cut	Analysis (div)	Delay Time	Average Count	Reject Count	Trigger Stim Rate
A1	07:38:28	A2-Cz	10uV	20Hz	3kHz	1ms	Ddiv.	2000	2	13Hz
A2	07:38:28	A1-Cz	10uV	20Hz	3kHz	1ms	Ddiv.	2000	2	13Hz
B1	07:42:38	A2-Cz	10uV	20Hz	3kHz	1ms	Ddiv.	3008	1	13Hz
B2	07:42:38	A1-Cz	10uV	20Hz	3kHz	1ms	Ddiv.	3008	1	13Hz
C1	07:46:00	A2-Cz	10uV	20Hz	3kHz	1ms	Ddiv.	2000	0	13Hz
C2	07:46:00	A1-Cz	10uV	20Hz	3kHz	1ms	Ddiv.	2000	0	13Hz

記録条件や記録時間なども一緒に貼付しておくことミスが少なくなる。

2. 右耳最大音圧刺激(135dBspl)



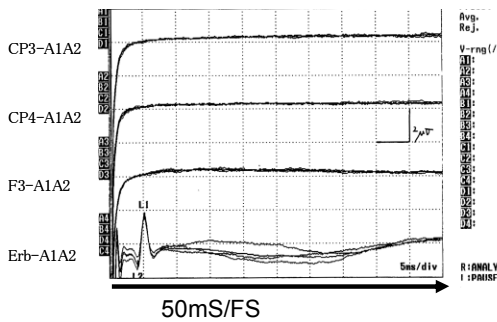
3. 左耳最大音圧刺激(135dBspl)



付録② 上肢SEP 記録例 [必須ではありませんが有用です]

(例ではWristでなくElbowで刺激した)

1. 右正中神経[Elbow]刺激



2. 左正中神経[Elbow]刺激

